

斎場周辺大気環境測定結果（令和7年度）

川越市斎場では、火葬炉等の適正な運転状況を確認するため、周辺大気を測定し、環境への影響について確認しています。このたび、令和7年度の測定結果がまとまりましたので、お知らせします。

測定時期：令和8年1月（斎場排ガス測定と同時期）
 測定場所：川越市斎場周辺
 測定内容：測定項目は、下表の7項目
 測定方法：環境省の定める方法に準ずる方法
 測定機関：ユーロフィン日本環境（株）

測定結果：測定結果は、参考基準を満たし、市内測定局等のデータと同程度であり、火葬炉の稼働に伴う大きな影響は特に見られませんでした。

項目		測定結果（2日間）		参考基準 （環境基準等：年間値）		市内測定局等のデータ （参考）（*2）
二酸化硫黄	ppm	1時間値の1日平均値	0.001	0.04以下	○	0.001
		1時間値の最大値	0.006	0.1以下	○	0.002
浮遊粒子状物質	mg/m ³	1時間値の1日平均値	0.008～0.017	0.10以下	○	0.004～0.016
		1時間値の最大値	0.027	0.20以下	○	0.025
二酸化窒素	ppm	1時間値の1日平均値	0.0121～0.021	0.06以下	○	0.008～0.024
塩化水素	ppm	期間最大値(日平均)	0.002未満	0.02以下（*1）	○	—
ダイオキシン類	pg-TEQ/m ³	期間値(日平均)	0.004～0.017	0.6以下	○	0.0053～0.020
水銀	μg/m ³	期間値(日平均)	0.0012～0.0013	0.04以下	○	0.0016
クロム	μg/m ³	期間値(日平均)	0.004～0.008	—	—	0.0016～0.0080

※ 環境基準等(塩化水素を除く)は年間の評価であり、本測定(2日間)とは単純に比較できないため参考基準としています。

*1：塩化水素の参考基準は、国が廃棄物焼却炉からの排出基準を設定する際に根拠とした数値(目標環境濃度)であり、期間の定めはありません。

*2：市内測定局等のデータは、二酸化硫黄～二酸化窒素は排ガス測定期間のデータ、塩化水素～クロムは公表されている令和6年度のものです。